

✈️ 海外生活 だより

北京事務所

ご存知ですか!? 中国のスポーツ事情!!

(財)自治体国際化協会北京事務所所長補佐
広瀬 正之(島根県松江市派遣)

未知の国

みなさんは、中国のスポーツといえば、何を思い浮かべますか？

一般市民のスポーツといえば、卓球や太極拳が連想されるのではないのでしょうか。市民生活については、ほんの十数年前までは人民服に自転車、朝早くから公園で太極拳というイメージがあったかもしれません。しかし、近年の経済発展に伴い北京市や上海市などの大都市においては、急速な都市化が進んでおり、「これが中国の市民生活である」という形も刻々と変化しています。そこで、市民生活の一つである中国のスポーツ事情について少し紹介したいと思います。

1990年以前の中国

市民生活レベルで正確な情報を把握しにくい中国ですが、スポーツについても「よくわからない国」という印象があります。例えば、中国にはプロサッカーリーグがありますが、それが日本のJリーグと同じ1993年に始まったということを知っている人は少ないでしょう。

中国のサッカー事情は一般に日本人に限らず、サッカーファンにとってもあまり馴染みがありません。これまで、アジアチャンピオンズカップ等には、中国からも「大連万達」や「上海申花」といったチームが出場しています。しかし、そのようなチーム名を見ても、プロチームなのかどうか、すぐに理解できる人が何人いるのでしょうか。

1990年以前は、中国国民のサッカー人気は高かったようです。大学の校庭にも近所の人々が集

まってきて、レンガでゴールを作り、思い思いにボールを蹴って楽しむ姿が見受けられました。サッカーがうまいことは、大学進学に有利でした。一方で、普通の学生はサッカー部に入ることすらできなかったのです。これは、他の種目も同様です。大学の代表チームの選手は、ユニフォームだけでなく、布製のスパイクシューズや防寒着に加えて、栄養費として当時の平均給料の1/3に相当する20元を与えられていました。トップレベルの選手は、エリート養成機関である各省の体育学校に所属しており、国の代表選手はこの中から選抜されています。いわゆるステートアマが所属する機関であります。

政府がこのようにスポーツ競技に力を入れた理由としては、まず、国威発揚が挙げられますが、それ以外に「スポーツ交流を、政治的なメッセージを伝える外交の道具としていたのではないか」とも言われています。

スポーツ選手育成システムの違い

日本では、基本的に小中高、そして大学へと進む学校単位のクラブ活動から優秀な選手が選抜される「学校スポーツシステム」、そして各地域や全国単位で選手を集め、独自のシステムで選手を育成する「クラブチームシステム」が存在します。そして、各競技別に競技団体(協会・連盟)が存在し、オリンピックや世界大会の出場選手を選出します。また、選手たちは基本的には、金銭面を全て自己責任でまかなうことになっています。現在はオリンピック出場選手の強化を狙って、「強化金」の支給等が行われていますが、原則的には、

大会参加や日ごろのトレーニング、指導者の選択等、全て自己責任が貫かれています。よって、彼らがオリンピックや世界大会に出場するのも個人の資格であるし、そこで優れた成績を取れば、それは彼ら個人の功績となるのです。

しかし、中国では異なります。中国におけるスポーツ選手は国家が育て、国家のために競技を戦い、その成果は国家に帰することが原則となるのです。そのために、国家は彼らに基本的な衣食住と豊かな練習環境、指導者を提供します。最終目標はオリンピックであり、そこで金メダルを取って、中国の威光を世界に示すことです。選手たちがしばしば口にする「祖国争光」という言葉がそれにあたるのです。

彼らいわゆるスポーツエリートは幼いころに選抜されます。ある指導者に聞くと、彼は休日などに公園などを訪れ、遊んでいる子どもたちを観察するそうです。子どもたちが跳んだり、走ったりする様子を見れば、その筋肉の使い方、才能の有無はすぐにわかる。これだという子どもを見つければ、保護者とコンタクトをとるのだそうです。

庶民スポーツ

では、庶民のスポーツはどうでしょうか。私も学生の頃からやっていたこともあって、毎週日曜日になると北京日本人学校の体育館へ出向いてバドミントンで汗を流しています。

バドミントンもまた、中国では人気のスポーツ



バドミントンを楽しむ人々

であり、愛好家は約2億人いるとも言われています。北京市内のバドミントン施設では1週間以上に予約しないとコートが確保できないほどです。

卓球とバドミントンは中国の「国技」と言われており、両方ともかなり普及していますが、最近ではバドミントン人気が高いようです。卓球より汗をかく量が多く、思ったより運動量も多いため、普段あまり体を動かさないサラリーマンにとって、ダイエットの効果もあります。また、バドミントンは子どもから大人まで、初心者から上級者まで、老若男女問わず誰でも楽しくできるスポーツです。

さらに、中国のプロ選手の活躍がバドミントン人気に拍車をかけています。今や中国はバドミントン競技では世界1位と言って良いでしょう。あらゆる国際大会で常に団体、個人戦も含め優勝あるいは上位をキープしています。このような成績は中国の国民、特にバドミントンファンの人たちに誇りと、励ましを与えていることは間違いありません。

さいごに

中国では、スポーツの普及の目的として、健康の増進という点を前面に出しています。日本ではスポーツは数あるレジャーの内の一つであり、人生のプラスαのように見られがちです。

スポーツがもたらす効果の中で、精神的な部分も含め、心身の健康に寄与することは非常に重要であると思います。スポーツのレジャー性や競技志向性の比重を低めて、日常生活の中でスポーツの価値を高め、また充実した施設や広い競技人口の裾野が、将来、名選手や一種の文化として老若男女がスポーツを楽しむ環境を生み出すことができると思います。